

**大人みんなで 子どもの心を育てよう！**

## **ココロねっこ運動！**



長崎県では7/1～7/31を「ココロねっこ運動強調月間」となっています。

本校でも、インターネットの利用に関するモラル教育やあいさつ運動など様々な活動を通して子どもの健全育成に取り組んでいます。

●ココロねっこ運動とは 子どもたちの心の根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県の県民運動です。また、長崎県ではあいさつ運動や地域で子どもを見守る活動など、子どもの健全育成のための取り組みを「ココロねっこ運動」として推進しています。平成13年度からスタートした運動で、平成20年10月には「長崎県子育て条例」の中で県民運動として取り組むことが定められました。

●大人が変われば 子どもも変わる ～大人のあり方を見直す～ 子どもは、親や身近な大人を成長のモデルとします。モデルである 私たち大人が、ルールやマナーを軽視したり、人間関係のわずらわし さから他者と関わらずに生活しようとする事は、子どものよき手本 となることでしょうか？「子どもは社会を映す鏡」です。もし、子どもに問題があるとすれば、それは大人自身の問題として考えてみる必要があります。

●できることから、大人から 子どもは日々成長しています。子ども期の成長のあり方は、その子の将来に大きな影響を与えます。子どもが大人になり人々のよりよい関わりの中で自立して生きていけるように、私たち大人がモデルとなり心の根っこをしっかりと育てたいものです。「マナーを守る」「あいさつをする」「子どもとの接し方を振り返って見る」「地域やPTAの行事に参加する」など、できることから始めてみましょう。一人でも多くの県民のみなさまが子ども

★一人でも多くの県民のみなさまが子どもの手本となり、子どもたちの育ちを応援してくださいませようお願いします。「ココロねっこ運動」の詳細は、インターネットにてご覧いただけます。

